yamada

会社案内
Corporate Profile

株式会社ヤマダコーポレーション

企業理念

堅実で公正な企業活動を通じて、

お客様のニーズ、社員の喜び、株主の期待、

産業と社会の発展に誠実に取り組む

当社は1990（平成2）年に『山田油機製造株式会社』から『株式会社ヤマダコーポレーション』へと社名を変更した時に現在のロゴに変更して現在まで使用しております。

2015年に、多重的な意味を含み持つ"シンボルマーク"を新たに制定いたしました。

株式会社ヤマダコーポレーション
代表取締役社長
山田 昌太郎

2020年初め頃より世界中に感染拡大した新型コロナウィルスが世界の風景を一変させ、人、物の動きや経済活動が制限される中、世界経済は急激な減速を余儀なくされました。

そのような環境下、当社においては変革期と位置付ける中期経営計画「Step!!2021」の最終年度を本年3月に終了いたしました。コロナ禍による活動制限もあり、変革といった大きな活動にはいたらないまでも、会社全体で危機意識を高め、社員一人ひとりが自ら考え、仕事のやり方を少しずつでも変えた最終年度には意義があったものと考えております。そして、業績についても、売上の約5割を米国や欧州をはじめとした海外が占める中、利益面では期初予想を大きく上回ることが出来たことは、大変意義深いことと考えております。
ひとえに、お客様、お取引様、株主の皆様のご理解とご協力に支えられてこその成果であり、皆さまには深く感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本年度（2021年4月～2022年3月）からは新中期経営計画「Jump!!2024」がスタートいたします。本中計においては、私達が過去に到達した最高水準の業績まで回復させることを「コロナ禍からの脱出（Jump）」と位置づけ、成し遂げるまで3か年を見通して活動を進めてまいります。

Hop（土台作り）、Step（変革期）、Jump（飛躍期）という3段階を経て、2025年の第100事業年度には「ヤマダグループ経営ビジョン "Yamada Toward 2025" 」の実現を目指しておりましたが、一気に飛躍（Jump）することは一旦改め、「コロナ禍からの脱出（Jump）」、業績の回復に集中いたします。

本年末には新相模原工場が完成いたします。当社としては半世紀ぶりの大型投資であり、生産から販売にいたるまでの、これまでにない高効率な体制を再構築できる絶好機であり、全社一丸となって、このコロナ禍の難局を乗り越えると共に、勢いのある3か年にしていきたいと考えます。

最後に、ここに書き始めて3年目になりますが、「生き残るものは、最も強い種ではない、最も賢い種でもない、環境の変化に最も敏感に対応できた種である。（チャールズ・ダーウィン）」ということを深く肝に銘じ、この環境の大変化にも着実に適応し、これからも益々皆さまに必要とされる企業となる努力をしてまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2021年7月
株式会社ヤマダコーポレーション
代表取締役社長　山田 昌太郎

yamada toward 2025

当社グループは、①ポンプ事業、②カーメンテナンス機器事業、③作業環境改善機器事業の三つの事業を核として、ものづくりの「品質へのこだわり」、販売からアフターサービスに至る徹底したお客様サービス「トータルサポート」でグローバルリーディングカンパニーを目指します。

ポンプ事業

カーメンテナンス機器事業

作業環境改善機器事業

製品紹介

About Our Products

全てのヤマダ製品はお客様の現場を円滑に推進します。1905年自動車用グリースポンプから始まったヤマダの製品は、現在様々な分野で安全な液体移送を実現するエア駆動ポンプに加え、グリースやオイルを使用したメンテナンス用機器、各種自動車整備用機器、作業環境を改善する局所排気システムなどがあります。普段目に触れることが少ない製品ですが、ヤマダの製品は世の中になくてはならないインフラとして幅広い産業で働く人々を支えています。

【ポンプ事業】

ダイアフラムポンプ

ダイアフラムポンプシリーズ

ダイアフラムポンプは圧縮空気で作動しますので、揮発性、引火性の材料、又は、危険な雰囲気の中での、液剤の移し換え、搬送に防爆対策を必要とせず、安心して使用できるポンプです。

シリーズ製品

- ●口径1/4"～1"小型ポンプ
- ●口径1-1/2"～3"大型ポンプ
- ●フッ素樹脂製ケミカルポンプ
- ●サニタリーダイアフラムポンプ

ドラムポンプ／サイホンポンプ

ピストン(レシプロ)ポンプシリーズ

パテのように固い材料、接着剤のようにねばつく材料、グリースのように流動性のない油脂類など、これらの材料を容器から直接汲み上げ、押し出して作業に直結させる。しかも容器の内側をきれいに拭いとり無駄をなくしたポンプユニットです。

シリーズ製品

- ●ドラムポンプ／サイホンポンプ
- ●分割型ドラムポンプ オイルポンプキット
- ●140型250型高粘度ポンプユニット
- ●ペール缶用高粘度ポンプ

電動式グリースガン／ハンドグリースガン

グリースガンシリーズ

グリース注脂工具として最も普及しており、種類も手詰めタイプからカートリッジタイプまであり、各種用途に合わせて選ぶことができます。スイッチの操作だけでグリースの充填が可能な電動式。建設機械、大型車両、エレベーターなどの各種メンテナンス用として最適です。

シリーズ製品

- ●ハンドグリースガン
- ●電動式グリースガン
- ●エア式グリースガン
- ●ノズル・マイクロ®ホース

グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ

ルブリケーション機器

手動式ポンプでオイル・グリースの給油・給脂ができます。コンプレッサーの圧縮エアで作動するエアパワードポンプを使用したグリース・オイルの給油機です。高性能・安全性に優れ、簡単に操作することができます。生産ラインメンテナンス作業に使用されております。

シリーズ製品

- ●グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ
- ●グリース用／オイル用 エアパワードポンプ
- ●ルブドラムセット（給油台車）
- ●グリース用足踏み式ポンプ

品質方針

当社は【顧客満足第一】を経営理念とし、その実行の為に下記の品質方針を定め、高品質の製品・サービスを提供し続けることを宣言いたします。

品質方針 1

お客様のご要求にお応えすることが出来るよう、関連する各部門にて品質を意識した仕事の取組みに努めます。（品質・納期・価格・開発・サービス）

品質方針 2

品質方針に基づき各部門にて品質目標を設定しその実施状況、達成度を計りながらその結果を管理し、品質マネジメントシステムの有効性を確認しながら継続的な改善を実施します。

品質方針 3

提供する製品・サービスに要求される各種の法規制・基準を順守することはもとより企業としての高い倫理性を追求します。

品質方針 4

お客様から信頼される会社、社会に認められる会社となるべく、常に意識改革と自己研鑽に努め、会社を発展させることに挑戦し続けます。

ダイアフラムポンプ

フロンガス交換機

局所排気装置

【カーメンテナンス事業】

エアキャリー／フロンガス交換機

自動車用整備機器

主に自動車の整備作業に使用するもので、ガソリンスタンド、自動車整備工場などで使用されております。自動車の安全をより向上させるための、タイヤ空気圧の点検及び充填、オートマチック車のオイル交換に加え、環境に配慮したフロンガス交換機など各種整備用機器があります。

シリーズ製品

- ●エアキャリー
- ●オイルドレン
- ●ATF/CVTFチェンジャー
- ●フロンガス交換機

YSRシリーズ

ホースリールシリーズ

サービスホースがスプリングの力によって巻き取られ、使用するときには使いやすい長さまで引き出す ことができます。ホースリールは天井、壁面、床面などに取り付け、グリースの給脂、オイルの給油、エアの充填などに使用します。

シリーズ製品

- ●YRシリーズ（エア、コード、制御）
- ●YSRシリーズ（エア、水、オイル、高圧温水、グリース）
- ●ステンレスホースリール（水、温水、高圧温水）
- ●コントロールバルブ（メカニカルバッチメーター）

【作業環境改善事業】

電動式排気ホースリール

車両排気ガス排出システム

ヤマダの排気ガス排出システムには、簡易型ホースユニット、排気ホースシステム、スライド式排気システムの各種類があり、車の排気量や設置場所によって一番適切なシステムを選択することができます。

シリーズ製品

- ●電動式排気ホースリール
- ●簡易型排気ホースシングル・ダブル
- ●排気ファン
- ●フィルターボックス

溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

局所排気装置

ウェルドフィルターユニットは溶接作業を中心とした溶接煙・軽量鉄粉の回収・排出に最適な集塵装置です。有害な物質も内蔵フィルターにて濾過し排出するので、安全・清潔・クリーンな作業環境を確立できます。

シリーズ製品

- ●溶接ヒューム・微細粉塵回収装置
- ●アーム型溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

当社はISO9001の認証取得、EC指令規格の適合宣言を行っております

JQA-QMA14149
本社・相模原工場
1.自動車整備機器
2.一般産業向け空気駆動、油圧駆動、電気駆動ポンプ及び関連機器

ISO9000シリーズとは、ISO（International Organization for Standardization）国際標準化機構によって1987年に制定された品質管理及び品質保証の国際規格のことです。ISO9000シリーズの認証取得には、生産の仕組みや品質の仕組みなどが評価され、それに適合している企業が認証されるもので、お客様の要求に応える規格であるといえます。

CEマークは欧州共同体閣僚理事会（EC指令=EC Directive）が示す安全規制に適合した製品だけに張り付けできます。EC市場でもISO9000シリーズの取得が国際的な流れですが、EC域内に輸出する場合このマークが必要となります。ISOと違うのは認証取得するのではなく企業が自らEC指令規格の適合を宣言するものです。

会社概要

About Our Company

当社は、1905年の創業以来、100年以上の歴史を持つ、液体移送の専門メーカーです。創業時からの「お客様の立場に立った製品づくり」をより広く、より多くのお客様へと地道に展開してきた結果、現在では日本国内はもとより、アメリカ、欧州、中国、タイにも拠点を設立し、全世界80カ国に代理店を持つグローバル企業に変革を遂げています。ヤマダの製品は世界の至る所で社会のインフラを支え続けています。

◎企業情報

- 商　　号：株式会社ヤマダコーポレーション
- 創　　立：1939年12月20日
- 資 本 金：6億円
- 代表取締役社長：山田 昌太郎
- 従業員数：グループ合計 376名（2021年3月31日現在）
- 売 上 高：連結決算 10,102百万円
  単独決算 7,457百万円（2021年3月31日現在）
- 売上高構成比：オートモーティブ部門：30.8%
  インダストリアル部門：56.3%
  その他：12.9%（2021年3月31日現在）

◎事業内容

- 空圧式、油圧式、電気駆動、その他の各種ポンプ及びこれらの関連機器類の製造、販売
- 気体、流体、粉体、粒体等の汲み出し、圧送、噴霧、吸引用各種ポンプ及びこれらの関連機器類の製造、販売
- 計量器及び電気式計測機器の製造、販売
- 各種洗浄機器の製造、販売
- 流体素子、流体式制御機器の製造、販売
- 自動車整備用機器及び排気・排煙浄化装置の製造、輸入並びに販売
- 医療用機器の製造、輸入並びに販売
- 上記にかかわる機器類の据付、保守及び構築物の設計、施工の請負
- 上記に付帯又は関連する一切の業務及び投資

馬込本社外観

「街かど緑化支援事業」助成認定取得

このたび、2015年4月に竣工致しました当社本社新社屋の新築工事における緑化工事が、公益財団法人東京都公園協会 東京都都市緑化基金による「平成27年度街かど緑化支援事業」の助成認定を受ける運びとなりました。社屋周囲の緑化により、地域の景観向上に貢献するとともに、社員のリフレッシュ空間を形成しております。

沿 革

1905
故山田重次郎が東京都芝区（現港区）新堀町に工場を設け、バルブ及びコック類の製造を開始。

1923
故山田正太郎が同工場を継承し、グリースポンプの製造に着手。

1939
（株）東京山田油機製作所（資本金18万円）に改組。

1947
商号を山田油機製造株式会社に改称。

1962
本社を大田区馬込東4丁目（現所在地）に移転（5月）。
東京証券取引市場第二部に上場する（9月）。

1963
神奈川県相模原市に主力工場として新工場建設。

1969
資本金を6億円に増資。

1986
オランダにYAMADA EUROPE B. V. を設立（6月）。
アメリカにYAMADA AMERICA, INC. を設立（11月）。

1990
シンボルマークを「ヤマダのポンプ」から yamada に変更（3月）。
商号を株式会社ヤマダコーポレーションに変更（10月）。

1996
ISO9001の認証を取得する。

YAMADA GROUP

◎国内拠点※

- 本社
- 営業所
  - 札幌営業所
  - 仙台営業所
  - 東京営業所
  - 名古屋営業所
  - 大阪営業所
  - 広島営業所
  - 福岡営業所

◎工場・子会社

相模原工場
〒252-0212
神奈川県相模原市中央区宮下1-2-38

株式会社ヤマダプロダクツサービス
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本3-12-13

株式会社ヤマダメタルテック
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本3-12-9

※国内拠点の各ご連絡先はP.8を参照ください。

◎海外拠点

YAMADA AMERICA,INC.
955 E.Algonquin Rd., Arlington Heights, IL 6005, U.S.A
Phone: 1-847-631-9200 Fax: 1-847-631-9273
E-mail: sales@yamadapump.com
Web: https://www.yamadapump.com/

YAMADA EUROPE B.V.
Aquamarijnstraat 50, 7554 NS Hengelo(O), The Netherlands
Phone: 31-(0)74-2422032 Fax: 31-(0)74-2421055
E-mail: company@yamada.nl
Web: https://www.yamada-europe.com/

雅玛达(上海)泵业贸易有限公司
上海市浦東新区祖沖之路1500号12号
TEL: 86-21-3895-3699　FAX: 86-21-5080-9755
E-mail:admin@yamadacorp.com.cn
Web:https://www.yamadapump.cn/

YAMADA (THAILAND) CO.,Ltd.
41179 Moo 6, (Bangna-Trad Road Km.16.5,) Bangcha-long,
Bangplee, Sumutprakarn 10540, Thailand
Phone:+66-(0)2-130-0990 Fax:+66-(0)2-130-0993
E-mail: sales@yamada-th.com
Web: https://www.facebook.com/yamadathailandofficial/

2000～

2004
EC指令規格の適合を宣言する。

2005
創業100年となる。

2007
中国にヤマダ(上海)ポンプ貿易有限公司を設立。

2014
タイ・バンコクに駐在員事務所を開設。

2016
タイにYAMADA(THAILAND)Co.,Ltd.を設立。
タイのバンコク駐在員事務所を閉鎖。

株式会社 ヤマダコーポレーション

https://www.yamadacorp.co.jp

本社･国内営業本部　〒143-8504 東京都大田区南馬込1-1-3

海外営業本部　〒252-0212 神奈川県相模原市中央区宮下1-2-38

札幌営業所　〒062-0002 北海道札幌市豊平区美園二条6-3-16
東京営業所　〒143-8504 東京都大田区南馬込1-1-3
大阪営業所　〒536-0021 大阪府大阪市城東区諏訪1-2-20
福岡営業所　〒812-0888 福岡県福岡市博多区板付5-18-14
仙台営業所　〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢2-2-3
名古屋営業所　〒463-0052 愛知県名古屋市守山区小幡宮ノ腰7-38
広島営業所　〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央3-3-9
相模原工場　〒252-0212 神奈川県相模原市中央区宮下1-2-38

【弊社HPはこちら!】

※本誌に記載する製品は改良等により予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

改訂　2022.01